



発行  
奥野田公民館

館長: 廣瀬

FAX ☎ [Redacted]

主事: 中山

FAX [Redacted]

### 新年あけまして

おめでと〜ございます

年頭にあたり 地域の

皆様方のご健勝とご多幸を  
お祈り申し上げます。

令和二年は、年明け早々から新型コロナウイルス感染症に関するニュースがテレビやラジオ、新聞等で連日取り上げられ始めました。中国・武漢のロックダウンを大変なことだと思っていたのも束の間、イタリアやスペイン、フランス等、ヨーロッパの国々に感染は拡大し、更にアメリカやブラジルなど北南米の国々でも感染爆発が起こり、それがまたたく間に全世界に拡大していきましました。皆様もご承知のとおりです。

日本でも感染クワスターが発生したクルーズ船の寄港に際して、水際対策を講じたり、感染者の多発している国からの邦人帰国に万全を期してきましたが、海外との人の移動を完全に止めることは不可能で、都市部から地方へと感染は拡大していきました。

政府も、小中高校の一斉休校や緊急事態宣言の発出で、外出自粛要請や娯楽施設などを対象とした休業要請、飲食店には営業時間短縮の要請を行う等、感染の抑え込みに取り組みました。その効果で一時的には感染を下げたに出来ましたが、反面、内需・外需の急減を受けての企業収益や設備稼働率の低下、観光業や飲食業を中心とした業績悪化を招き、経済の下支えが急務となりました。

五月に、国内では緊急事態宣言が解除され、海外主要国でのロックダウン(都市封鎖)の解除・緩和により、経済活動は徐々に再開されましたが、それと共に感染者数は世界各国で再び増加に転じ、国内でも夏には第二派の感染拡大が起こりました。

アメリカの感染者状況を人ごととは思えないでいると、日本でも十一月から十二月には国内の新規感染者数が「過去最多」と連日のように報じられました。

医療崩壊が懸念されるほど、医療現場が「限界」に近づいている地域も出始めていることに、更に不安をかきたてられます。

### 不確実性の高まっている

### 状況で迎えた令和三年

海外では、ワクチン接種を開始した国もありますが、効果の検証は十分とは言いきれません。「アフターコロナ」時代の到来はまだ当分先と思います。

今は「ウィズコロナ」の社会で生活していく覚悟が必要です。コロナウイルスと共存したくはありませんが、一人ひとりが感染防止に向けて最大限の留意を払っていくことが大事です。

奥野田公民館としましては、利用者から感染者が現れないようにと、利用団体の代表者会議でお願いしてきたところですが、慣れによる気の緩みがないように重ねてお願いする次第です。マスクの着用、手洗い・うがいの励行、除菌の徹底、三密の回避、適切な換気、等々、出来ることを皆さんと共に、感染防止に努めながら、公民館活動を続けていきたいと思ひます。

**本年も皆様のご協力を宜しくお願いいたします。**

### プランターの花植え

公民館祭りを一週間後に控えた11月20日、プランターに花植えを行いました。お手伝いいただいた宮川庸之助様、雨宮宏様ご夫妻、ご協力ありがとうございました。長方形のプランター8つと丸鉢3つに花を植え付け、公民館玄関の左右に配置しました。



今年度の奥野田公民館祭りは、展示を主体として11月28日(土)、29日(日)の二日間開催しました。公民館での教室に参加している方々の作品を中心に展示しましたが、地域の文化祭としての要素もあることから、地域の皆さんの手作り作品も展示していただき、奥野田小学校児童の作品や保育園児の作品も展示し、華を添えていただきました。

公民館祭り  
盛大に



両日とも朝9:00から、初日は午後4:00まで、二日目は片付けの関係で、午後3:00までの展示でしたが、出展者を中心に家族連れや友人連れなど、多くの方に参観いただきました。ありがとうございました。

また、直前の26日・27日の準備や29日の午後3時からの片付けに際しては、奥野田健康づくりの会の役員の皆様や元館長・主事の方々にもお手伝いいただき、感謝しております。

広瀬千恵子先生の指導のもと、助手の方のお手伝いもあり、参加者は持参した鉢にオアシスを入れ、先生の用意してくれた花材に、各自が持参した花材を加えるなどして、「トピアリー」を仕上げていきました。例年より参加者も多く、作品も多数展示できました。

トピアリーの製作風景



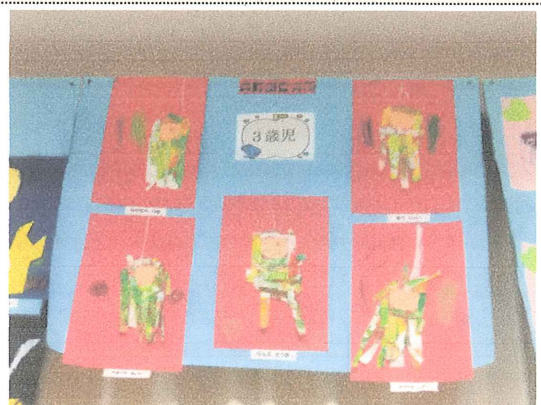
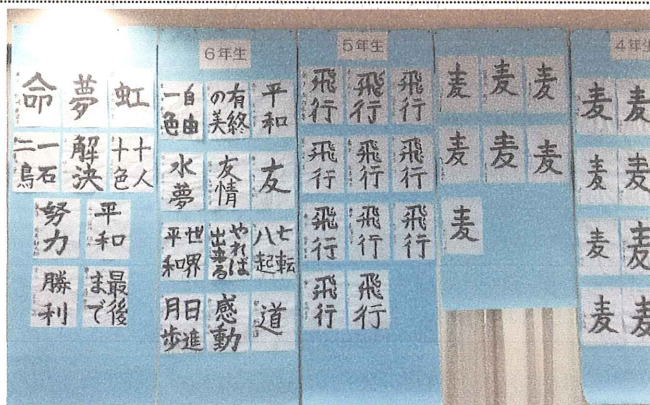
フラワーアレンジメント教室

公民館祭りの準備と並行して、11月26日(木)午後から、フラワーアレンジメント教室を開催しました。今年度のテーマは「トピアリー」

完成しました

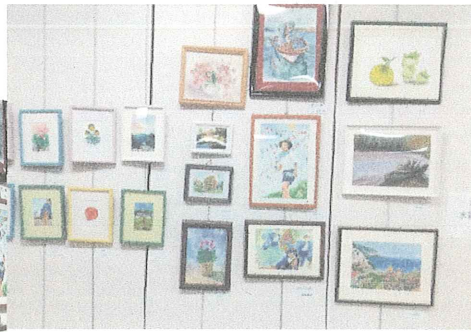
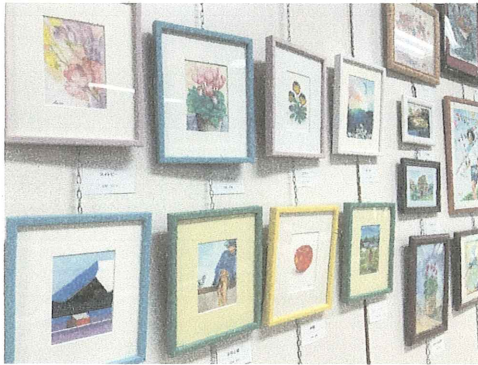


公民館祭りの小学生と保育園児の展示物の一部です (小学校保育所の先生方のご協力に感謝します)



# 公民館祭り 展示の一部(紙上ギャラリー)

今年も多くの皆さんの作品を  
展示することが出来ました。  
紙面の都合で一部の紹介となります。



水彩画教室の展示



フラワーアレンジメント  
展示コーナー



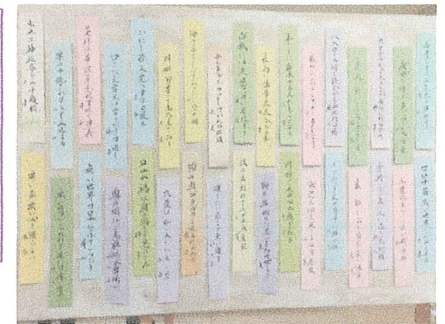
川柳教室の展示



クラフトバンドバッグ  
展示コーナー



手作り作品の展示の一部



押し花絵教室の展示と参加者



### 川柳教室

師走とは思えない小春日和に包まれた12月2日(水)の午後、奥野田公民館では今年度四回目の川柳教室が開かれました。この日は、10名のメンバー全員が揃い、講師の田口先生を含めて11人が集いました。いつも通り題詠句と自由吟を三句づつ持ち寄り、田口先生に撰評をいただきました。(☆印は講師作)

次回のお題は「家」です。引き続き参加者募集中!

#### 題詠句 お題『和』

#### 自由吟

- |                                    |                     |
|------------------------------------|---------------------|
| ・ 大家族支え昭和の母の知恵                     | ・ 口にマスク心にマスク石になる    |
| ・ 和やかに家庭円満囲む鍋                      | ・ 返事して録音電話に叫ぶ孫      |
| ・ 和むなあたった一言だったのに                   | ・ 抱きしめて欲しくてずっとかくれんぼ |
| ・ 終戦後和子という名増えた理由 <small>わけ</small> | ・ 本質の自分探して旅に出る      |
| ・ 師走二日和子の生まれ日焼香す                   | ・ 川柳は頭の体操よっちゃばれ     |
| ・ せせらぎの落ちし枯れ葉に我和む                  | ・ 軒下につるした百目甘くなる     |
| ・ 帯締めて晴れの舞台が懐かしく                   | ・ マスクして挨拶されて誰だっけ    |
| ・ 令和年コロナで行事は皆中止                    | ・ 木枯らしが吹いて干上がるつるし柿  |
| ・ 子の和服孫の二十でよみがえる                   | ・ コロナ禍で知識常識新時代      |
- ☆ 家庭の和中爺婆の玉の汗
- ☆ 良い運とリップサービスする主治医
- |    |    |    |    |    |    |    |    |    |     |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 裕人 | 直美 | 久孝 | 仲子 | 早苗 | 清和 | 由希 | 満治 | 玲子 | かつみ |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|



選句する田口先生と選評を待つ参加者たち

毎月、この「公民館だより」の原稿提出が前月の17日までとなっているため、前月の15日頃までの内容しか掲載できません。ご了承下さい。

#### 一月の予定

- |          |        |           |
|----------|--------|-----------|
| 1月 7日(木) | 13:30~ | いきいき健幸教室  |
| 1月12日(火) | 13:30~ | フラサークル    |
| 1月13日(水) | 13:30~ | 川柳教室      |
| 1月19日(火) | 9:00~  | 民生児童委員協議会 |
| 1月25日(火) | 9:00~  | 子育てサロン    |
| 1月25日(火) | 13:30~ | フラサークル    |

※12月15日時点の予定のため、今後追加の可能性あり

